



2024年3月29日

各 位

会 社 名 株式会社グランディーズ
代表者名 代表取締役社長 亀 井 浩
(コード：3261 東証グロース、福証 Q-Board)
問 合 せ 先 管理部マネージャー 伊藤慶樹
(TEL. 097-548-6700)

上場維持基準への適合に向けた計画について

当社は、2023年12月末日時点において、東京証券取引所グロース市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2023年12月末日時点における東京証券取引所グロース市場の上場維持基準への適合状況は下記のとおりとなっており、流通時株式時価総額については基準に適合していません。当社は下表のとおり、今回不適合となった流通株式時価総額を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取り組みを進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (基準日時点)	877人	12,950単位	4.7億円	35.5%
上場維持基準	150人	1,000単位	5億円	25.0%
計画期間			2024年12月末	

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算出を行ったものです。なお、流通時価総額の計算に用いられた事業年度末以前3か月間の最終価格の平均値は369.20円であります。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針

「流通株式時価総額」の構成要素は、「時価総額」と「流通株式比率」であります。

当社は、流通株式時価総額の充足を目指し、時価総額の改善により東京証券取引所グロース市場における上場維持基準への適合を目指してまいります。

(2) 課題及び取組内容

(課題)

時価総額につきましては、主に再生案件の M&A 実施に伴う一時的な利益の減少が要因であると認識しております。2023 年 12 月期の期初通期予算においては親会社に帰属する当期純利益予想を前期比 84.8%減の 10 百万円としており、グロース市場に求められる高い成長性を示すことが出来ていないことが要因で、当社の株価が低迷し、流通時価総額の基準を充たせていなかったと認識しております。

一方で、流通時価総額を算定する株価は、事業年度末前 3 か月の平均株価を用いており、上記のとおり流通時価総額基準を充たしておりませんが、2023 年 12 月 21 日付「2023 年 12 月期連結業績予想、配当予想の修正に関するお知らせ」の発表日以降の株価においては、流通時価総額基準を充たしております。

(取組内容)

2022 年 10 月の M&A 実施時より、3 年計画での黒字化を目標としており、2023 年 12 月期は徹底したコスト管理や収益構造の再構築を進め、赤字を大きく減らすことができました。引き続き経営再建を進め、2024 年 12 月期での赤字解消を目標に、グループ間シナジーの最大化に注力し、下記の 2024 年 12 月期の連結業績予想の達成に努めます。

(百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社に帰属する 当期純利益	
通期予算	4,000	△13%	150	23%	150	22%	100	△44%

以上